

ふみびと

第317号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

春色に染まる 想いの世界

人生の祝福と感慨

誕生日。子どもの頃は
もちろん、大人になっ
ても他の日とは違う特別
な一日。

「もう誕生日がおめで
たい歳じゃないよ」

いつの歳からかそんな
風に言うことも増えてき
ますが、それでも無事に
また歳を重ねることが
きたおめでたい日。そし
て自分が生まれた日であ
り、産んでもらった日
でもあります。

自分に子どもができる
までは深く考えたこと
もありません。

なかつたのですが、新し
い命が宿って無事に産ま
れるというのは思ってい
たより遥かに大変なこと
子どもを授かることも決
して当たり前ではなく、

文字通り命がけとも言
える出産を経て、自分が
こうしていられることに
両親、特に産んでくれ、
健康な身体に育ててくれ
た母に対する感謝の気持
ちは言葉に尽くせないほ
どです。

そういう気持ちもあつ
て誕生日は祝ってもらえ



る日であり、私にとつて
は両親に感謝の気持ちを
伝える日。普段の「あり
がとう」より少し重みの
あるそれを伝えられるそ
の瞬間は、大切なひと
きでもあります。

普段はしないような子
どもの頃の苦労の話を聞
くのもその時期の風物詩
のようなもの。はいはい
して階段から落ちてしまっ
たり、ストープで手を火
傷してしまったり。
もう子どもの頃から何度

言い得て妙

暖かな日が増えてきた。昼間に
は春を感じる日差があふれてい
るし、日が落ちてからも身をすく
めるような寒さはもう感じない。
先日も夜道の空気が思っていた
よりもずつと柔らかくなって、思わ
ず口元がほころんでしまった。

そういうえば、昼間は青空がきれ
いだった。今夜はどれだけきれい

な月が見れるだろう。そう思っ
て空を見上げると、雲間にまぎれて
ぼんやりとした月が浮かんでいた。

くつきりとした鮮やかな月が見
られるかと思つたのにと、少しがっ
かりした瞬間、「朧月夜」という

言葉思い出した。おぼろげに浮
かぶ雲にかかった月。春の季節に
もなっているらしいその美しい言
葉を胸にしながら淡い月をあら
ためて見上げると、なんとも言
えない風情を感じ、言葉の持つ
作用を実感した。と同時に、自分
の現金さにも少々苦笑が浮かんで
しまつた。

しまつた。

風船便

風船便はいつでも誰でも参
加できますが、その受取は新
規の方へ優先されます。
誰に届くかは風次第...。送
り方は簡単。下の風船便切手
を切り取って手紙に貼り宛名
に「風船便を受け取った方へ」
と書いて、差出人名を書くだ
けです。事務局の返信筒に納
め、事務局宛の封筒に入れて
封下まで流し込みます。



お知らせ

3月の発送日

3月の次回発送は27日
の予定です。送りたいお
手紙がある場合には3日
前(24日)までに事務局
に到着することをお近く
の郵便局で確認の上ボス
トに投函してください。

今年の目標

言葉の冊子

毎年恒例イベント「言
葉の冊子」今年の目標「
にたくさんの方の投稿ありが
とうございます。すでに、
Web上に掲載しております
ので、ぜひご覧下さい！
好評につき近日中に同様
のイベントも開催決定！

